



2022年（令和4年）2月20日

# はるかぜの会便り

KHJ群馬はるかぜの会 第66号

## 12月例会 講演会「発達特性の基本的な理解と支援について」

群馬県発達障害者支援センター 於：県社会福祉総合センター 2021.12/19

**発達障害とは**、生まれつきの脳機能の障害である。(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症など)特性のために社会的に困難さを持つ場合に支援の対象となる。(障害)

### 発達障害の特性

①情報・コミュニケーションの特性→相手のメッセージを理解しにくい、自分の気持ちを伝えにくい、感覚過敏または鈍感等

②全体よりも細部に注目する特性→刺激に影響を受けやすい、全体の予定を把握しにくい、変化が苦手、応用が利かない、興味や関心の偏り等

③記憶の特性→口頭指示を忘れやすい、嫌なことを覚えている等

④想像することの困難さの特性→相手の気持ちや空気を読むことが苦手等

⑤体の使い方→手先が器用でない、運動が苦手等

発達障害の特性は、多かれ少なかれ誰もが持っている。社会不適応が生じている人、診断を必要とする人もいる。「私も同じ」「あるある」というレベルとは全く異なる困り感やつらさがある。ひきこもり、不登校、うつなどの二次障害が発生することもある。

**支援や配慮のポイント**①本人の話を聴く→非難、説教をしないで本人の視点で考える②苦手の克服ではなく得意を生かす→本人にも周りにも特性を理解してもらう。苦手は避けていい

③正確で論理的な会話を心がける→短くゆっくり、具体的に、淡々と伝える

④目に見える形で伝える→書き出す等

対応は、本人の得意を生かすことを考える。できたことは、ほめる、認める。苦手なことは工夫をする。それでも難しければ苦手を避ける。周囲からの配慮をもらうことを考える。

### \*\*\*群馬県発達障害者支援センター\*\*\*

【支援内容】 ①相談支援 ②発達支援

③就労支援 ④普及・啓発・研修

【相談方法】 本人及び家族等からの電話受付→相談票での申し込み→予約

前橋市新前橋町13-12  
(群馬県社会福祉総合センター7階)  
Tel.027-254-5380

### \*\*\*今回の講演を聴いて\*\*\*

「最近、発達障害のことは、テレビなどでも取り上げられ、知られるようになってきました。その特性を持つために社会生活での困難さを感じ、ひきこもりの様々な要因のひとつとも言われています。今回、DVD『学校コワイ』より「小学校に入学したはるちゃん」の事例を通してわかりやすく説明してもらいました。

はるちゃんが学校をこわくなくなるためには、本人が自分の特性を理解、納得することが必要です。まず、本人の話を聴いて、本人の視点で考え、わかってもらうことが大切だと思いました。」(R)

## 新年のご挨拶

会員様には行動変容と予防にて、新しい生活様式を考えながら、過ごす日々が続きます。昨年オンライン配信で例会等を試みましたが、やはり対面は反応や表情を直接受容できるようです。昨年10月から自主活動『コンパッション』として「趣味活動&体験交流」を始めました。自分には無理かな?と思ったが、作品制作、健康筋トレを参加すると夢中になり、ホットする時が持てました。

今年も再会を待ち望み宜しくお願い致します。

はるかぜの会代表 牛込 美千代

## 講演会：「家族みんなでソーシャルスキルトレーニング 1」

日時： 2022年3月20日（日） 午後 1:30~4:30

場所： 群馬県社会福祉総合センター2階 203AB会議室  
前橋市新前橋町13-12（構内・構外専用駐車場 / 無料）

内容： 前は、普通の生活に目を向け、できるようになりたい「目標」を立てました。今回は、グループワークを通して、階段を上がるように少しずつ目標に向かっていくスキルを学びます。

講師： 精神科医師 浅見 隆康 先生

群馬大学健康支援総合センター昭和事業場産業医 SST普及協会理事

対象： 関心のある方

定員： 感染防止対策定員33名（先着順、予約制）

\*会員の方も、事前に参加不参加のご予定を下記までお知らせください。  
\*ご参加の際は、体調を整え、不織布マスク、手指消毒、検温等感染対策にご協力をお願いいたします。

## はるかぜの会 参加申し込み お問い合わせ

☎ 090-2916-0346

✉ harukazenokai.gunma@gmail.com

〈その他 お問い合わせ〉

KHJ全国ひきこもり家族会連合会本部事務局

☎ 03-5944-5250

✉ <http://www.khj-h.com>

